

北海道ニセコ町一般廃棄物最終処分場

本処分場は、当該地域が雪の多い気象条件であるため降水による影響を受けないよう配慮し、またニセコ町の産業基盤の1つである自然景観や環境へも配慮したクロードシステム最終処分場である。

第2期処分場を隣接地に確保しており、上部被覆構造物を移設・再利用する計画である。現在は駐車スペースとして利用している。

浸出水処理施設は車椅子に配慮した入口スロープ、バリアフリー床、トイレ等を設置している。

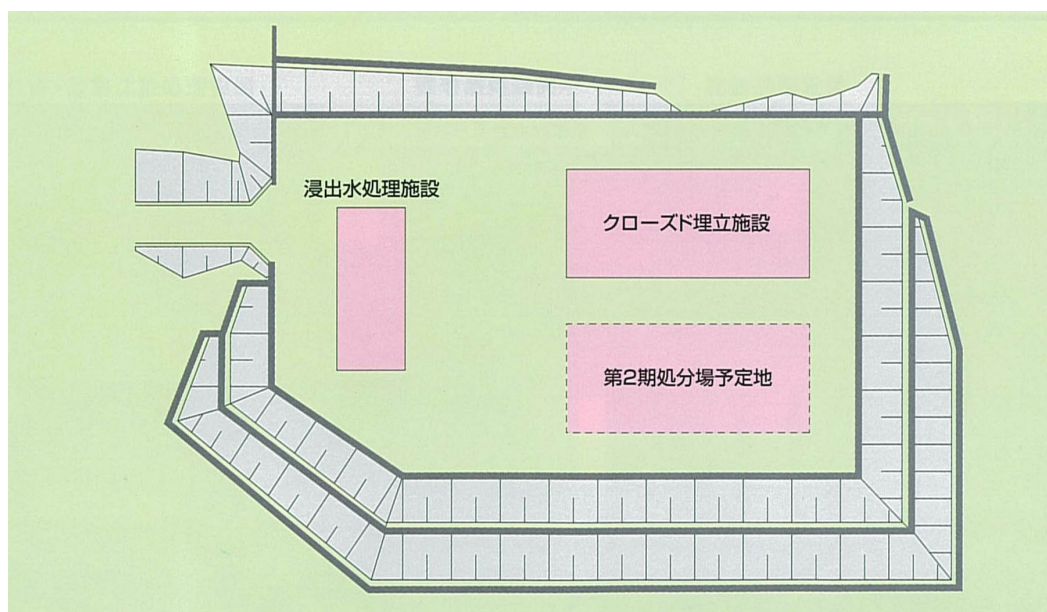


図1 処分場平面図

埋立地

寸法：	W20.25m×L50.50m×D5.8m
	埋立面積 1,000m ² 埋立容量 4,500m ³
貯留構造物：	鉄筋コンクリート
遮水構造：	底面部/コンクリート(50cm)+ゴムアスファルトシート(4mm) +不織布
	法面部/コンクリート(50cm)+ゴムアスファルトシート(4mm) +不織布

埋立地は同一敷地内に2区画まで計画されているが、現在1区画を建設し供用中である。

遮水工はコンクリート+ゴムアスファルトシートの2重遮水構造としている。

埋立地内に場内道路を設けることで安全な作業環境を確保し、またダンピングによる飛散を防ぐことで作業環境への負荷を軽減している。

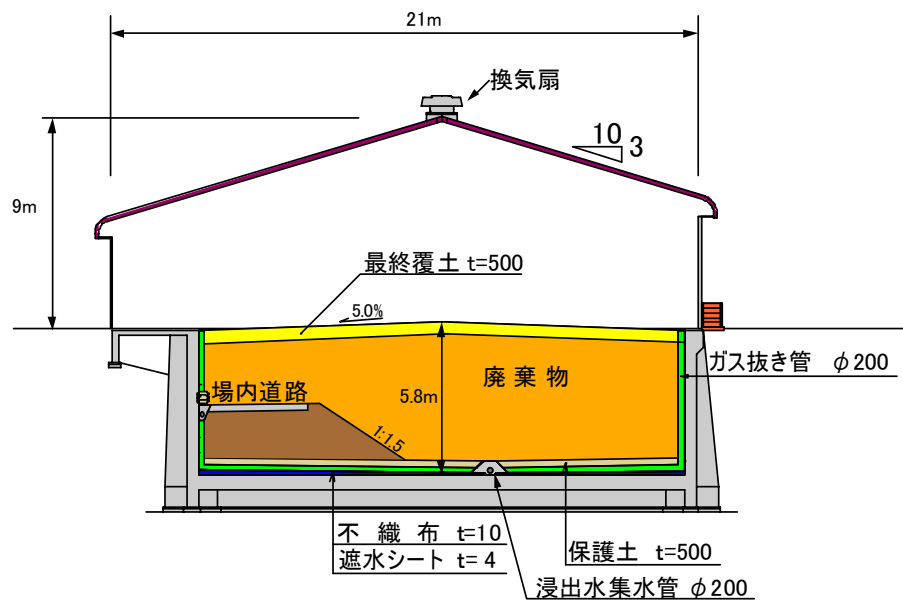


図 2 埋立地断面図

被覆構造物

構造： 鉄骨造平屋折板葺

寸法： W24.0m×L51.0m×D9.0m

設備： 換気設備、散水設備、照明設備、作業環境監視設備

積雪の影響を考慮して、被覆設備は鉄骨造折板葺とした。被覆設備は2区画へ移設する計画であり、多くの部材を再利用できるように構造的な配慮をしている。壁の一部にポリカーボネイト折板を使用し、自然採光を多く取り入れるようにしている。



写真 1 建屋外観



写真 2 埋立地内部

浸出水処理施設

処理フロー： 接触ばっ気＋凝集沈殿＋砂ろ過・活性炭吸着
＋（ダイオキシン類分解塔）＋消毒

処 理 能 力： 5 m³/日

処理水は下流の河川へ放流している。放流先の水質環境の保全を考慮して、砂ろ過・活性炭吸着による高度処理を行っている。砂ろ過の後段には、ダイオキシン類の分解塔を設置している。

散水用水は、施設上流の井水を使用している。

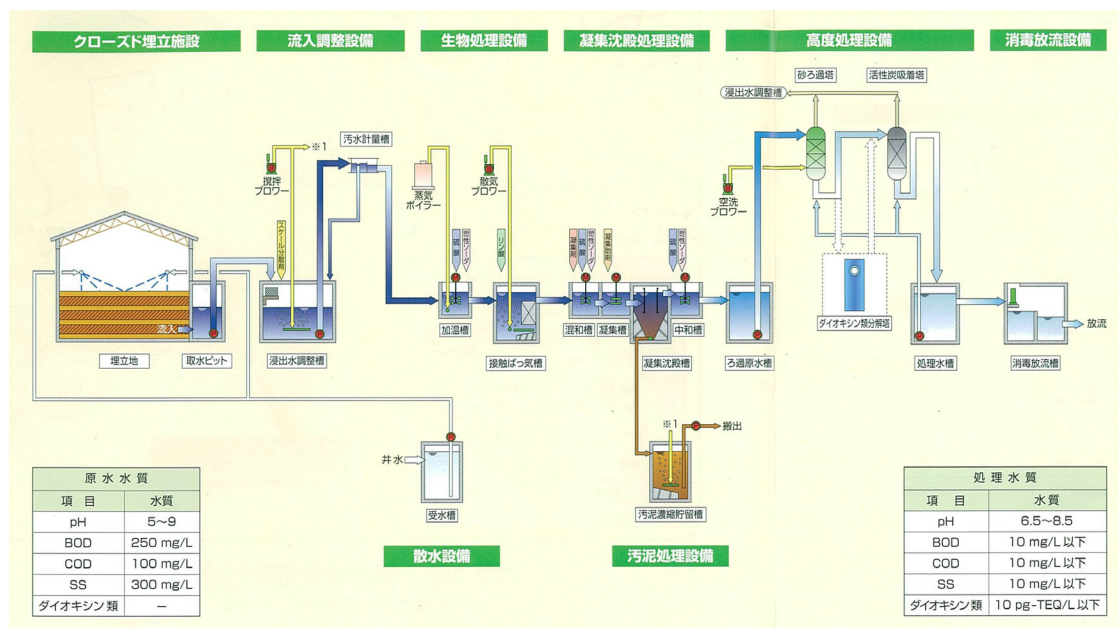


図 3 浸出水処理システム



写真 3 浸出水処理施設外観



写真 4 処理施設内部

管理設備

①換気設備

埋立地内の作業環境を保つことを目的として、ルーフファンを 5 台設置している。

②散水設備

散水により早期安定化を図る施設としている。埋立地全面を散水するために、11ヶ所にスプリンクラーを設置している。

廃棄物の安定化を考慮した散水状況を確認するために、散水量, 浸出水量, 処理水量を測定している。

③照明設備

施設内の照明は壁面に設けた採光パネルから自然光を取り入れ、より快適な作業環境の確保に配慮するとともに、省エネルギーを図っている。

④作業環境監視設備

換気設備、散水設備等により作業環境を良好に保つとともに、埋立地内の酸素濃度、温度等を測定し、作業環境を監視している。また、これらの異常時のための警報装置を設けている。